

科目名	保育内容（音楽表現の指導Ⅰ） A					単位	2.0
担当教員	水野 伸子						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	1427

●授業のテーマ

音楽表現を通して子どもの発達を促すことの出来る音楽的な資質能力を身につける。

●到達目標

- ・ 音楽の基礎的理論（楽典）を実践的に学び、実際の教材を通して理解する。
- ・ 幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「表現」の内容を理解する。
- ・ 乳幼児の音楽的な発達のみちすじを子どもの姿で理解する。
- ・ 発達に即した音楽活動を構成できる。

●学習内容(授業概要)

- ・ 音程・リズム・調性を中心とした楽典の実践的な課題に取り組む。
- ・ 幼稚園教育要領・保育所保育指針の表現の内容を実際の子どもの姿で理解し、望ましい保育者の援助のあり方を考える。
- ・ 乳幼児の生活や言葉との関係から日本人の音楽的な発達のみちすじを理解する。
- ・ 乳幼児の発達に即した音楽活動を実践的に学ぶ。

●学習内容(授業計画)

≪後期≫

1. 本授業のねらいを理解し、各自の音楽経験を振り返りながら課題を明確にする。
楽典課題①音程
2. 幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「表現」の内容を理解する
楽典課題②音程・音価
3. 領域「表現」と従来の「音楽リズム」との相違を理解する（グループワーク 1）
楽典課題③音程・音価
4. 音への興味からわかる幼児の音楽的な発達のみちすじを理解する（グループワーク 2）
楽典課題④音程・拍子
5. 発達に即した音楽活動を実践的に学ぶ
楽典課題⑤音程・拍子
6. わらべうたの音組織を調べる（グループワーク 3）
楽典課題⑥音程・リズム
7. わらべうたの音組織発表会（グループごとに発表する）
楽典課題⑦音程・リズム
8. 言葉と音楽との関係からくる幼児の音楽表現の意味を理解し、それを活かした活動を学ぶ。
楽典課題⑧音程・リズム
9. 私たちの生活と音楽の関係を問い直し、音楽教育の意味を考える。音の地図を描く。
楽典課題⑨音程・リズム
10. 幼児が経験する楽器を使って音楽表現を楽しむ（グループワーク 4）
楽典課題⑩音程・リズム
11. 保育における療法的音楽活動の意味や実践例を学ぶ
楽典課題⑪リズム
12. 3歳児の音楽表現を理解し、指導案の書き方を学ぶ

楽典課題⑫リズム

13. 4歳児の音楽表現を理解し、指導案の書き方を学ぶ

楽典課題⑬リズム・調性

14. 5歳児の音楽表現を理解し、指導案の書き方を学ぶ

楽典課題⑭リズム・調性

15. 幼児の音楽表現の指導案を書く

●準備学習・事後学習の内容

- ・ 毎授業ごとのリズム課題を練習して授業に臨む。
- ・ 授業内容に必要な資料を探しておく。
- ・ 授業後学びをまとめておく。

●成績評価方法・基準

以下の内容について総合的に評価する

- ・ 毎授業ごとの学びの振り返り (30%)
- ・ 授業参加態度 (20%)
- ・ 課題や提出物 (50%)

●テキスト (必携)

《No.1.》書籍名：実践しながら学ぶ子どもの音楽表現、著者名：石井玲子編著、出版社：保育出版社、販売先：生協

●参考文献／その他

参考プリント適宜配布

《No.1.》書籍名：『こどものうた 200』、著者名：小林美実編、出版社：チャイルド本社、販売先：生協

●履修上の注意

- ・ グループ活動も多くなることから、欠席しないように参加する。
- ・ 提出物は、締め切りを厳守する。